

皮膚を通して
全身を診ることのできる医師を育てる

皮膚科専門研修プログラム

募集定員
8名

研修期間
5年



責任者からのメッセージ

教授 緒方 大



皮膚科は新生児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを対象とし、アトピー性皮膚炎や薬疹など薬物療法が主体の疾患から、熱傷や皮膚癌などの外科的治療が必要なものまで守備範囲とすることが大きな魅力です。数多くの症例を経験することで、患者さんの病巣を的確に表現できるようになり、そしてこのことは臨床診断や病態の把握に役立ちます。また皮膚科ではマクロ(臨床)とミクロ(皮膚病理)を対比できるのが強みです。病理が苦手という方もいらっしゃるかもしれませんが、皮膚病理は確定診断になる事はもちろん、臨床像や病態と密接に関係しています。私たちとマクロとミクロを診る目を養って頂きたいと思います。私たちとここ宮崎で皮膚科学を極めたい仲間を歓迎いたします。

プログラムの特徴

外来患者数は1日平均50人以上、疾患も先天性皮膚疾患、炎症性皮膚疾患、皮膚悪性腫瘍など多岐にわたります。入院患者は重症薬疹、熱傷、皮膚癌など重症患者も多く、豊富な経験を積むことができますのが特徴です。また年間手術件数も多く全身麻酔の症例だけで約300件の多くの手術を経験することができます。内科系から外科系まで幅広く知識・技術を習得することができ、また研究面においては、皮膚がん、アレルギー疾患などに関する臨床研究や臨床試験を複数実施しており、南九州に多いとされる成人T細胞性白血病／リンパ腫の進行に関連する遺伝子変異の検索なども行っています。地域医療に貢献できる研究や診察を目指しています。

連携施設名等

	施設名	指導医	1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	緒方 大 教授、他9名	56.3名	13.2名	243(入院)例
連携施設	県立宮崎病院、県立延岡病院、県立日南病院、千代田病院、古賀総合病院、藤元総合病院、順天堂大学医学部附属 順天堂医院、九州大学病院				
準連携施設	なんごう病院、国立健康保険西米良診療所、高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院				

※プログラムに書かれている施設への研修は、必ずしも全ての施設で研修できるということではありません。

取得可能な専門医資格および技能

- 機構認定皮膚科専門医
- 日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導専門医
- 日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

基幹：研修基幹施設での研修

連携：研修連携施設での研修 → 県立宮崎病院(宮崎市)、県立延岡病院(延岡市)、県立日南病院(日南市)、古賀総合病院(宮崎市)、千代田病院(日向市)、藤元総合病院(都城市)

大学院(研究)：基礎医学の講座などで研究に専念する期間(2年間まで)

大学院(臨床)：皮膚科を研修しながら研究をする期間

コース	研修1年目	研修2年目	研修3年目	研修4年目	研修5年目	
A 基本コース	基幹	基幹	連携	連携	基幹	受験申請 専門医試験 専門医 サブスペシャリティ修得
B 連携施設中心コース	基幹	連携	連携	連携	基幹	
C 社会人大学院コース	基幹	基幹 (社会人大学院)	連携 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	基幹 (社会人大学院)	
D 大学院在学中に受験するコース	基幹	連携	基幹	大学院 (研究)	大学院 (研究)	

※ 産休・育休の期間は6か月を上限に研修期間として認められます。

※ 1人医長の期間は最大2年まで研修期間として認められます。

※ 大学院生として皮膚科以外の臨床講座あるいは基礎系講座あるいは研究所等にて皮膚科領域に関連する研究に従事する場合は、2年間に限りに研修期間と認められます。

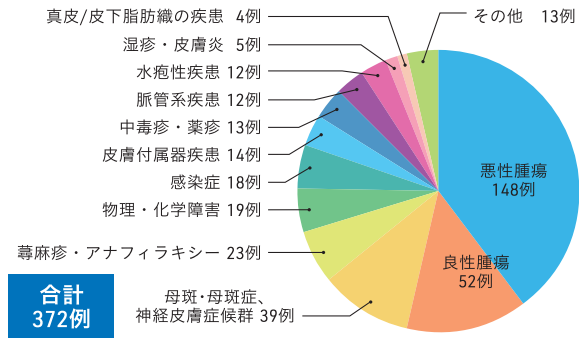
プログラム達成目標

皮膚科専門医として信頼され安全で標準的な医療を国民に提供できる十分な知識と技術を獲得できることを目標とし、医師としての全般的な基本能力を基盤に、皮膚疾患の高度な専門的知識・治療技能を修得し、関連領域に関する広い視野をもって診療を行うことが出来るようになることを目標とします。

主要症例名と実績数(令和7年度)

昨年度の実績数は以下のとおりです。

疾患別延べ入院患者数



週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

月曜は終日カンファレンスを行います。専攻医は自身の受け持ち入院患者について1週間のウィークリーサマリーのプレゼンテーションを行ってもらいます。また皮膚病理検討会や、外来スライドカンファレンスも行っております。外来患者のカンファレンスにも参加することで、稀な疾患からコモンな疾患まで幅広く知識を深めることが出来るようなカンファレンスを行うことを目標としています。抄読会も行い、英語論文に慣れ親しんでもらうことを目的としています。水曜金曜の

時間	月	火	水	木	金	土
AM	病棟・回診	手術及び病棟	外 来	休 診	外 来	手術・病棟等 (シフト制)
PM	カンファレンス・病理・抄読会等	手術及び病棟	外 来	休 診	病棟・回診	

先輩からのメッセージ

助教 福良 拓也



入局5年目です。病棟と外来といずれにも参加しております。手術については症例数も多く、頭から足先までどこにでも、また、何歳に対してでもメスをいれることがあります。こういったリスクが伴うのか、どう工夫すれば綺麗に治せるのかなど、手術の注意点や工夫が全く同じということはひとつも無く、症例ごとに悩み考えることはすごく楽しいです。外来ではもちろん塗り薬をよく使いますが、疾患によっては飲み薬や注射もいくつか適応となり、光線療法やレーザー治療が選択肢のこともあります。各症例に応じて背景も考慮してカスタマイズした治療を考えることが楽しいこの頃です。皮膚科は想像よりもかなりおもしろいです。是非研修お待ちしております。

指導医からのメッセージ

講師 西川 陽太郎



皮膚科の特徴の一つは症状が目に見える事にあります。肉眼で確認できる症状から病態を考える奥の深い学問であり、臨床では治療の効果が医療者、患者ともに実感しやすい点も特徴的です。皮膚科は疾患領域、スペシャリティが多岐にわたる点も特徴的で、当プログラムでは豊富な手術症例に携われるだけではなく、炎症性疾患やアレルギー性疾患も幅広く経験することができます。私自身は皮膚病理に興味を持って研修を開始しましたが、研修中にアトピー性皮膚炎の研究を行い、現在はアレルギー性疾患を中心に日々の診療に臨んでいます。手術を含め、幅広く皮膚科を学びたい方、宮崎の医療への熱い思いのある方、皆様の研修参加をお待ちしております。

お問い合わせ先

担 当：西川 陽太郎

T E L：0985-85-2967

F A X：0985-85-6597

e-mail：derma@med.miyazaki-u.ac.jp

皮膚科 HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/derma/

